

8. 刑部小学校区 八尾市の未来を語るタウンミーティング（開催日時：平成20年12月20日）での意見への対応状況

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>① (1) 地域防災対策等について(防災関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゲリラ豪雨のため、想定外の被害が起こることがあります。地域防災計画はどのようになっていますか。 ○ 自主防災組織の整備率はどのくらいを想定していますか。 ○ 災害発生時に高齢者をどのように搬送しますか。 ○ 災害発生時に避難勧告を発令することになっていますが、すべての住民が知りうる方法はありませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災計画は、全体的な見直しを図っています。 ○ 自主防災組織の整備率は約68%で、100%をめざして頑張っていきたいと考えています。 ○ 搬送するための用具は、学校や自主防災組織に整備しているところです。また、カンパンや水などの備蓄食料も定期的に点検していきたいと考えています。 ○ 住民への災害情報発信には、『FMちゃお』などの媒体を使いたいと考えています。テレビやラジオで災害情報が早く出されるようになり、警報の場合は職員が出動して対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨などによる河川や水路等の決壊、溢水による水害を防止し、被害を最小限に止めるため、関係機関と連携し、気象観測情報の収集、警戒活動及び避難勧告等を実施するなど適切な対策を講じる旨、定めています。 ○ 自主防災組織の組織率は、平成21年3月末現在で、町会全体の7割にあたる539町会で組織されています。 ○ 災害発生時には、自主防災組織等を中心とした地域ぐるみの救出救援活動が災害被害を最小限に止めるために必要になります。 お尋ねの高齢者の方々の搬送については、自主防災組織の結成時に必要な資機材を交付するとともに、最寄りの小学校の防災倉庫に、担架や車椅子、リヤカーを設置しておりますので、ご活用いただきたいと思います。 ○ 避難勧告等については、大阪府を通じて、テレビやラジオ等の報道機関に対して放送要

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
		<p>請を行うとともに、市域には、サイレンなど防災行政無線やFMちやおによる放送を行うほか、市のホームページによる広報、関係機関との連携による広報車によるパトロールを実施し、市民への情報伝達を実施する予定です。</p>
<p>① (2) 地域防災対策等について(耐震関係)</p> <p>○ 「体育館」と「教室」の耐震化の優先度はどちらが先ですか。</p>	<p>○ 学校の耐震化は約 20%となっています。耐震化については、前倒して実施していますが、耐震診断が終わらないと作業が出来ません。耐震診断は、平成 22 年度末には終わる予定です。耐震化の優先度は災害時の避難場所としている学校の体育館を優先するように考えています。また、老朽化の著しい物件は建替えも検討します。</p>	<p>○ 校舎及び体育館は、災害時における市民の避難場所でもあり、特に一次避難場所に指定されている体育館の耐震化を優先しつつ、学校施設全体の耐震診断につきまして平成 22 年度完了を予定しており、耐震補強工事につきましても、耐震診断結果及び八尾市耐震改修促進計画にもとづき、早期実施に努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>② ボランティアについて</p> <p>○ 長年ボランティアで地域の清掃活動をされている方に対して報いる方法はないでしょうか？</p>	<p>○ 他にもそういった活動をされている方を紹介していただいて、表彰出来ないか考えていきたいです。</p> <p>○ ボランティア精神を守りながら高齢クラブ等に市から事業委託を行うことで、地域の清</p>	<p>○ ボランティア活動をされている方などを表彰できないかどうか検討していきたいと考えています。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
	<p>掃活動や安全・安心な地域づくりを通じてコミュニティを作っていくことができないかと考えています。</p>	
<p>③ 町会の加入率低下について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町会の加入率が低下している。任意加入では解決できないので、強制加入にすることは出来ないでしょうか。ゴミ袋や市政だよりの配布は町会からしか出来ないようにするなどの手段はとれないでしょうか。法の整備ではなく、そういう姿勢を打ち出してほしいです。 ○ 防犯灯の管理も町会でを行っています。町会に入っていない人も利益を受けるのは不公平ではないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八尾市の町会加入率は約 77%であり、低下傾向にあります。 ○ 町会に強制加入ということは、難しいです。 ○ 地域の問題については、これからは小学校区単位で解決していく事や、市の事業を地域へ委託するなど、いろいろな視点から検討していきたいと考えています。 ○ 防犯灯の数は約 19,000 本で、年間約 2,500 万円の補助をしています。明るい町を作ることによって犯罪を無くしていきたいと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の安全安心の確保は、町会活動の目的の大きな柱ではないかと考えております。 <p>町会への加入率の低下は、このような目的を達成する上でも大きな障害となっていることは十分認識しておりますが、地域の安全は地域で守るという観点から、今後も取り組みを進めていただきたいと思います。</p>
<p>④ (1) 子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て総合支援ネットワークセンター「みらい」がありますが、子育て支援ひろば「わらべ」と「わらべひよっこルーム」が週 1 回社会福祉会館でされています。庁舎周辺公共施設整備が検討されていますが、市直営の常設 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの身近なところに、子育てを支援する拠点が必要と考えます。次期の次世代育成支援行動計画策定の際には検討したいと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て総合支援ネットワークセンター「みらい」につきましては、子育て支援の拠点として、庁舎周辺の公共施設機能更新を検討するうえでも必要な施設であると位置付けております。

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>の広場にすべく、次期の次世代育成支援行動計画策定の際に検討していただきたいです。</p>		<p>その中の一機能として「わらべ」「わらべひよっこルーム」を開設しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「みらい」では主に子育て相談、サポートを拡充してまいりたいと考えており、親子の交流等については、地域での子育て支援の拠点となる「つどいの広場」を全中学校区で設置するよう取り組んでいるところです。
<p>④ (2) 子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 乳幼児の支援はありますが、10代以上の子どもたちへの支援やボール遊びなどをする為の場所が無いと思います。また、次世代育成支援行動計画策定の会議でも小・中学校の校長先生など、そういった子どもたちを代表する方たちの出席が無いのも問題ではないでしょうか。 ○ 将来的に、子ども条例を作っていただきたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ つどいの広場については、八尾市内で全部で5箇所があります。また、地域での様々な子育て支援の取り組みがありますので、それらを生かして取り組んでいきたいと考えています。 ○ マニフェストにもありますが、来年度公立の小学校で放課後児童室を午後6時までに時間延長する予定です。 ○ えほんデビュー事業(ブックスタート)の取り組みをはじめました。 ○ 乳幼児医療の助成対象については、4歳まででしたが、平成20年7月から就学前まで拡大しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て支援については、就学前に限らずすべての家庭において安心して子どもを生み育てることができる環境づくりが重要であり、各種事務事業に取り組んでいるところであります。 ○ 子どもの遊ぶ場所の問題につきましては、安全性の確保などの課題、特に球技等の利用になれば、不特定が利用する場所では危険性が伴います。そのため、学校や運動広場などで、一定のルールに基づき利用いただくことが望ましく、また、学校においても児童の身体の発達段階に応じたボール運動を指導しております。

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの支援については、これからも色々な視点から行っていきたいと考えています。 ○ 遊ぶ場所の問題では、子どもからもそういった意見を聞いています。今後の課題として検討をしていきたいと考えています。 ○ 小学校と中学校との連携はある程度ありますが、幼稚園・保育所と小学校との連携が取れていないので、議論する場を持つことを検討しています。 <p>[中原教育長]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボール遊びは、ボールが小さい子どもにあたるという危険もあります。子どもの成長に合わせて遊び方が変わるので、ボール遊びを一律に禁止ということは難しいです。学校でも時間をみて対応をしています。 	<p>さらに、小学生を対象とする子どもの居場所づくりの事業として、平成 19 年度より放課後や週末に小学校の施設を活用し、地域の方々が参画するスポーツや文化・学習活動などの様々な体験活動や地域住民との交流活動を現在 20 小学校区で実施しております。中学校区では多彩な体験活動の機会と場所を提供する地域主体の「すくすく子ども地域活動支援事業」も実施しております。</p> <p>また、赤ちゃんと保護者の方が絵本を介して言葉と心を通わせ親子で大切な時間を過ごしていただくお手伝いとして、平成 20 年度から 4 か月健診時に絵本を配布する、えほんデビュー事業を実施しています。また、地域子育て支援センターでも子育てを行う保護者が集まりサークルを立ち上げて実施しており、本市の保育士も一緒になって活動や支援等を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 乳幼児医療費助成につきましては、通院の助成を就学前児童まで引き上げ、現在通院（外

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
		<p>来)・入院ともに就学前まで助成しております。</p> <p>なお、次世代育成支援後期行動計画(H22～H26)の策定につきましては、児童やその保護者等を対象にニーズ調査を実施するとともに、PTAや青少年育成連絡協議会等、子どもに関する関係機関の代表者等で構成する会議を開催し、幅広い視点で意見をいただきながら、取り組んでおります。</p> <p>○ 子ども条例の制定については、平成19年に大阪府で「子ども条例」が制定され、基本理念や保護者や学校等の責務が定められており、また、本市においても「人権尊重の社会づくり条例」を制定し、市民等の役割を定めていることから、当面は、これらを踏まえて子どもの権利の尊重と擁護について、市民とともに取り組んでいきます。</p>
<p>④ (3) 子育て支援について(コミュニティバス)</p> <p>○ 4ヶ月健診などで保健センターに行く際に使えるように月に何度かコミュニティバスを</p>	<p>○ コミュニティバスは約 8,000 万円の支出に対して収入が約 1,500 万円しかなかったこと及び利用者が少なかったため廃止しまし</p>	<p>○ コミュニティバスについては、費用対効果の観点から一旦廃止したところです。本市では子どもやお年寄りを含めた市民の移動利便</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>運行していただけないでしょうか？</p>	<p>た。子どもや高齢者を含めた市民の利便性向上のための交通手段については、様々な視点から検討をしていきたいと考えています。</p>	<p>性の向上に向けて、様々な観点から検討を行い、八尾市として効果的な公共交通体系を考えていきます。また、今後は地域おける交通問題を市民とともに考える仕組みづくりに取り組んでまいります。</p>
<p>⑤ 新型インフルエンザ対策について</p> <p>○ 新型インフルエンザへの対策についてはどのようにお考えでしょうか。</p>	<p>○ 国でワクチンの備蓄をしていますが、全国民に行き渡る量ではありません。八尾市での備蓄は費用等の面で検討が必要です。国や大阪府の動向を見極めながら対応していきたいと考えています。</p>	<p>○ 平成 20 年 12 月に「新型インフルエンザ対策庁内検討委員会」を設置し、新型インフルエンザ情報の早期把握・初動体制の確立など市民の健康を守るための指針を検討し、平成 21 年 4 月に「新型インフルエンザ庁内対策指針」を策定しました。</p> <p>また大阪府では医療体制やワクチンの備蓄等の行動計画の見直しが行われているところであり、今後とも国・大阪府の動向を注視してまいります。</p>
<p>⑥ 事務事業評価の市民参画について</p> <p>○ 現在、事業の評価は職員が行っていますが、市民の目で評価できるようになりませんか。</p>	<p>○ 市民の評価については、市民意識調査やタウンミーティング等のご意見を生かしていきたいと考えています。</p>	<p>○ 平成 20 年度には、第 4 次総合計画の総括の際して、元気で新しい八尾のまちづくりを考える市民懇談会（公募市民委員 16 名と学識委員 4 名で構成）からコメントをいただくと</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
		<p>いう取り組みを行いました。また、市民意識調査や八尾市の未来を語るタウンミーティング等での意見も市民の皆様からの評価だと考えています。今後も、どのような市民評価の方法があるか検討していきたいと考えています。</p>
<p>⑦ 上下水道の一本化について</p> <p>○ マニフェストにおいて上下水道の一本化を公約されていますが、いつ頃の予定でしょうか。</p>	<p>○ 一本化できるかについて検討をしています。</p> <p>○ 下水道の進捗率が <u>90%※</u>を超えないと上水道との一体化は難しいと考えています。</p> <p>○ 八尾市だけではなく、東大阪市や柏原市と一緒に事業をしていく事も案として考えられます。</p> <p>○ 広域行政の観点から、柏原市と災害時の給水についての協定を結びます。</p> <p>※数値に誤りがありましたので、お詫びして訂正させていただきます。</p>	<p>○ 上下水道一本化（一元化）に向けて各市の状況調査等に基づき、下水道担当部局・水道局双方で協議を重ねた結果、解決すべき課題も多いため、平成 20 年度では実現可能な部分から順次行うという方針に基づき、転送電話回線を新設しました。平成 21 年度では、双方の課題抽出整理を行うと共に各分野における検討部会を本格的に立ち上げ、具体的な協議を行っていく予定です。</p>
<p>⑧ 水道事業について</p> <p>○ 水道料金の値上げを考えておられるようですが、今後の水道事業の方向性についてはどのように考えておられますか。</p>	<p>○ 下水道料金の値上げに関連して、逓増制の見直しを行っています。また、水道料金につきましても 3 年を目処に料金の見直しをして</p>	<p>○ 現在の財政計画（平成19～23年度）の期間中では今のところ料金改定は予定していませんが、昨年秋以降、水道料金の減収が計画以</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 水道料金は逡増方式を採用しており、小家族は安く、大家族になれば高くなりますが、不公平ではないでしょうか。 ○ 耐震強度に合っていない配水施設や給水管について、取替え費用を工面するために、企業債を増やさずに水道料金の平準化でまかなうことはできませんか。 	<p>いかなければならないと考えています。下水道料金と共に検討していきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 配水場の耐震化についても、健全経営を続けつつ改善していきたいと考えています。 <p>〔野村水道事業管理者〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 逡増制料金については、見直しについて検討しています。 ○ 水道事業は公営企業ですが、一般の民間企業以上に地域住民の福祉を守るという使命があるため、使用量の少ない家庭は安くしていきたいと考えています。 	<p>上に顕著となってきています。更に今後、老朽化が進む施設や水道管の更新等、耐震化を含めた投資が必要となってきます。現在、自己資本の増強を図りつつ、できるだけ企業債を増やさずにまかなうように努めていますが、水道局としてはまず、可能な限り内部努力を行った上でなお、不足を生じる場合は、市民の皆様にも一定のご負担をお願いすることもありうるものと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水道事業は地方公営企業であり、法律で経済性とともな公共の福祉の向上を求められています。逡増制の料金体系は、こうした観点から一般家庭の料金負担をできるだけ抑えることを念頭としています。しかし、大口需要者に対して過度の負担を強いることのないよう、今後、逡増度の見直しも含め、時代に合ったより公平で合理的な料金体系の検討を進めていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ⑨ (1) 生涯学習の取り組みについて(担当について) ○ 生涯学習の取り組みについてどのように考 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報提供ができていないとか、コミュニティセンターにエレベーターが無いので講座に参 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習のきっかけづくりのために、情報提供は大切なことなので、さらに多くの市民に

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>えておられますか。事業が多すぎて、情報発信元がバラバラなので、担当部署を決め、効率的に事業を行う必要があると思います。</p>	<p>加できないなどのご意見を他でも頂いています。</p>	<p>対して、効率的に情報が伝わるよう務めてまいります。</p>
<p>⑨ (2) 生涯学習の取り組みについて(会議方法)</p> <p>○ 会議などの参加についても、もっと大規模にした方が効率が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>○ 情報提供については、来年 4 月に八尾市のホームページが新しくなりますので、その場で行っていきたい。また、市政だよりも増ページし情報発信していきたいと考えています。</p> <p>○ 会議への参加者数が増えるような情報発信の方法を考えていきたいです。</p>	<p>○ 市政の情報提供につきましては、今年度よりホームページのデザインを一新し、人生場面、目的別のアイコン(絵記号)の導入や利用頻度や閲覧頻度が高い項目等のバナー化(単独見出し)の導入、テーマ別分類(「八尾で暮らす」「八尾を知る」など)の導入、文字拡大、音声読み上げ、最新情報検索機能などの閲覧支援機能の導入などの機能を新たに加え、利用者の視点に立って、これまで以上に使いやすく、わかりやすい操作とともに八尾市の魅力や手続き案内を発信できるものをめざし、取り組んでおります。</p> <p>また、市政だよりにつきましても、7 月 20 日号よりページ数の増加を行い、コミュニティ FM 放送もあわせ、インターネット環境に親しみのない方にも、市政情報提供の充実が図れるよう取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>○ 会議等の委員募集や傍聴についての情報は、市政だよりにおいても可能な限り誌面上の集約をするなど、わかりやすい情報提供に努</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
		めております。
<p>⑩ 幼稚園について</p> <p>○ 刑部には公立の幼稚園が無いのは問題だと思えます。</p>	<p>○ 学校規模の適正化の検討を行っているところです。</p>	<p>○ 公立幼稚園のあり方等の課題については、本年度に幼稚園審議会を設置し、検討を行うこととしております。</p>